



# 文化財ニュース いわき

第 69 号

平成 24 年 9 月 28 日

財団法人いわき市教育文化事業団

福島県いわき市常磐藤原町手這50-1  
(いわき市考古資料館内)

TEL 0246 (43) 0391

## がき どうよこあなぐん 餓鬼堂横穴群の発掘調査

—県内初となる木棺をともなう横穴の調査—

【現地説明会 平成24年9月30日(日) 10～12時】

餓鬼堂横穴群は、いわき市平薄磯字餓鬼堂・北ノ作地内に所在し、薄磯海岸の北に突き出た丘陵の東端付近に位置しています。標高約20m前後の崖の中腹には古墳時代（今から約1300～1400年前）のお墓が40基以上つくられていました。発掘調査は平成17年度からおこなわれ、平成23年度までに合計30基の横穴が調査されました。とくに平成22年度に調査した23号横穴と、昨年度調査された30号横穴の天井は、屋根のような形（家形）につくられ、朱色の顔料で装飾されていました。ひとつの横穴群からこうした装飾横穴が2基も発見されることはたいへん珍しいことです。

今年度は9基の調査をおこない、新たな発見が相次ぎました。とくに35号横穴では、木製の棺が3基並んで見つかるとともに、数多くの副葬品が出土しました。今年度の調査成果は、前年度までの内容と合わせ、いわき地方の歴史解明へ大きな役割を担うことになるでしょう。



発掘調査前のようす（平成24年7月）

とじておきましょう。



35号横穴の玄室から見つかった3基の木棺（中央の茶色い範囲）



木棺の板材が一部残っていました



左側の閉塞石が動かされ、大人一人がやっと通り抜ける隙間ができていました（調査前）

#### ◆木棺をもつ35号横穴

遺体を納めた部屋（<sup>げんしつ</sup>玄室）の規模は、全長2.5m、幅2.9m、高さ1.8mを測ります。天井はドームのような形をしています。また、壁に沿うように、排水用の溝が周囲を巡っています。

検出された3基の木棺は、およそ長軸1.7～1.9m、短軸0.3～0.4mを測ります。とくに最も奥壁寄りで見つかった1号木棺の両端付近からは200点以上のガラス製小玉と、メノウ製<sup>まがたま</sup>勾玉・水晶製<sup>きりこだま</sup>切子玉が出土しました。

横穴に木棺が残っていた例は今のところ県内にはなく、たいへん貴重な発見となりました。

とじておきましょう。



玄室隅にまとめられた土師器・須恵器と鏡・斧 (35号)



げんもん 玄門付近から出土した円頭大刀の把頭 (35号)



1号木棺の勾玉(左3点)と切子玉(右の2点)(35号)

### ◆35号横穴の副葬品

てっとう ゆみ どうす  
鉄刀・弓・刀子などの武器、馬具のひとつである鉄  
あぶみ すずくしろ どうくしろ じかん わん  
製の鏡が一組、鈴釧・銅釧・耳環・腕などの青銅製  
なつめだま  
品、勾玉・コハク製 褒玉・水晶製切子玉・ガラス製  
すえき  
小玉などの装身具、須恵器(蓋・杯)・土師器(杯)  
はじき  
などがあります。玉類などの装身具は木棺内を中心に  
出土しています。一方、鉄製品の多くは小片で玄室手  
前左隅に集中し、土器と鏡や斧は玄室手前右隅に重なり  
あって見つかりました。



りょうとうかなく  
木片をともなう弓の両頭金具

とじておきましょう。



石製紡錘車と刀子 (29号)



玄室左側壁に掘られた「L」字形の溝 (33号)



折れた鉄刀と人骨 (36号)



奥壁付近で見つかった鉄鏃 (37号)

#### ◆他の主要な成果

29号横穴：多数の鉄鏃の他、鉄刀・刀子などの武器、60点を越える玉類などの装身具類、2点の紡錘車<sup>ぼうすいしゃ</sup>などが出土しました。武器は奥壁寄りに、装身具は玄室中央付近にありました。

33号横穴：玄室は全長2.7m、幅2.8m、高さ1.5mを測ります。玄室左側の壁に沿って、中央よりもやや高く「L」字に溝が掘られています。板石の一部が残っていたことから、長方形に仕切られていたようです。鉄刀1振、刀子2振と人骨が出土しています。また、玄室中央部からはヒトの臼歯と勾玉が見つかっています。

36号横穴：玄室の全長3.2m、幅3.0m、高さ1.5mを測ります。市内でも比較的大型に分類される国指定史跡中田横穴<sup>なかだ</sup>(2.6m×2.8m)をしのぐ玄室規模をもち、本横穴群でも最大級の大きさです。鉄刀、青銅製の釧と耳環、人骨が玄室の中央付近から見つかりました。これらとほぼ同一の範囲において、木片のひろがり<sup>ひろがり</sup>が確認されたことから、本横穴も木棺に遺体を納めたものと考えられます。

37号横穴：法面工事により掘削されたため、その全体像は不明ですが、天井が0.7mと低く、29号横穴とは玄室の形態もよく似ています。奥壁付近から鉄鏃が23点出土し、出土状況も29号横穴に似ています。また、小型の土師器甕1点が、右側壁際から出土しています。

とじておきましょう。